



図書紹介



1. 「わたしはいつも あなたとともに」 サラ・ヤング著 土屋 治子訳

イエスからのメッセージ
あなたは今、必要な励まし、慰め、チャレンジは？
みことばをイエスの立場に身を置いて語りなおす、
大好評のサラ・ヤング聖書日課シリーズ



2. 「心の部屋を空けて」 堀 肇 著

あなたの心の部屋は、空いていますか？
牧師・カウンセラーである著者が「孤独」なこの時代に紡ぐ、
自分は愛されていない、生きている意味がない・・・
そんな「見捨てられ感」を抱える心に寄り添う癒しのエッセイ集



3. 「ローマ帝国のたそがれとアウグスティヌス」 磯部 隆

古代末期の神学的巨人の生涯を、帝国の衰亡史と重ねつつ、
弟子アリピウスの述懐を通して描いた壮大な歴史小説

4. 「靈性」 越前 喜六 編著

光輝く内なる言葉
“未来からのもの”との出会い“
12人のイエズス会士と
1人の仏教徒が「靈性」を語る。



5. 「真の喜び」に出会った人々 菊地 功

困難の中で喜びに輝く、忘れがたき友
8年間滞在したアフリカで、また世界各地での地の塩、
世の光である人々の思い出。新東京大司教による、
勇気を与えられる一冊



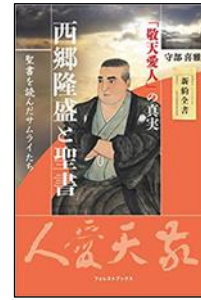
6. 「西郷隆盛と聖書」 守部 喜雅著

敬天愛人の真実

「聖書を読んだサムライたち」シリーズ第6弾

「西郷さんは聖書を読んでいた」

多くの資料や証言で西郷隆盛の人物像に迫る。



7. 「キリスト教とは何か(10)」 粕谷 甲一

どん底こそ希望の起点

キリスト教二千年の歴史における反省と謝罪一。

退潮ムードに覆われている教会が今日直面している

課題は何か。「価値あるものはただ愛だけ」とのことばの

重みが、わたしたちに問いかけるもの



8. 「希望の教育へ」 レギーネ・シントラー著 深谷 潤 訳

おとなは子どもに何を伝えられるか

多様な価値観が渦巻く時代、子どもたちは何に拠って人生を

築いていったらいいのだろうか。子どもを囲む世界を見つめ、

心に天と地を結ぶはしごかけ

希望を育む道を豊かに指し示す。

9. 「3本の木」 アンジェラ・エルウエル・ハント著

ティム・ジョンク画 津久井正美訳



むかし、ある山のでっぺんに3本の小さな木があって、それぞれのしょうらいをゆめ見ていました・・・・・・・・

それがこの3本の木にまつわるアメリカの民話の始まりです。

3本の木が抱いていた夢は、それぞれ思いがけない形で実現することになります。

アンジェラ・エルウエル・ハントの独創的な文章が語りなおすこの物語は、世代を超えて、老若男女を問わず、読む人の心をひきつけてきました。この版は絵本の誕生25周年を記念して出版されました。この絵本が、新しい世代の人々にも喜びを与えることを祈りつつ。